

# 弱勢音節における英語短母音

三 羽 一 郎

## 1. ま え が き

英語の二音節以上の語において、第一強勢も第二強勢も受けない、“weak syllable”もしくは“unstressed syllable”と呼ばれる音節の母音が、通例、弱化して、多くの場合 /ə/ にとって代わられることは周知のことである。このことは、また、次の資料によっても裏付け<sup>(1)</sup>することができよう。即ち、A. C. Gimson に引用されている、D. B. Fry による、英語の RP (Received Pronunciation) における各種母音の使用頻度の調査によれば、/ə/ は 10.74%、/i/ は 8.33% となっていて、第三位の /e/ の 2.97% を遙かに凌駕している。ところで、/i/ は強勢音節と弱勢音節の両者に現われ、同様のものに /u/ があるが、その頻度は僅か 0.86% に過ぎない。これに対し、/ə/ は弱勢音節に限って現われる音であることを考えれば、弱勢音節全体において占めるこの音の優位性が如何に圧倒的であるかを窺うことができる。しかしながら、この位置におかれた母音が常に /ə/ にまで弱化する訳ではなく、依然として強い音のまゝに留まる場合のあることもまた事実である。このことは、短母音だけの例ではあるが、次を見ても明らかである。

	強勢前	強勢後	末 尾
/i/	dictat <u>ion</u>	accid <u>ent</u>	frant <u>ic</u>
/e/	ment <u>ality</u>	contem <u>plate</u>	proj <u>ect</u>
/æ/	ambit <u>ion</u>	necrom <u>ancy</u>	telegr <u>am</u>
/ə/	Oct <u>o</u> ber	anal <u>og</u> y	cha <u>o</u> s
/u/	fulf <u>il</u>	tarant <u>ul</u> a	boyh <u>oo</u> d
/ʌ/	publ <u>i</u> city	inculc <u>a</u> te	conduct

いちいち例を掲げることは省くが、長母音と二重母音についても同じことがいえる。

さて、以上によって、われわれは、英語の弱勢音節においては、通例 /ə/ が現われるが、他のいずれの母音も現われ得ることを見たのであるが、ここで、「弱勢音節」という用語について考えて見たい。もともと、強勢とは、Jones の定義を借用すれば、“the degree of force with which a speaker pronounces a sound or a syllable”<sup>(2)</sup>であるから、それは相対的なものと考えられる。従って、彼もいうように、他の音節より強く発音される音節は“strongly stressed”であり、左程強さを加えずに発音されるものは“unstressed”，更に正確に言えば“weakly stressed”であるといわれるのである。“unstressed syllable”という用語はしばしば諸家の用いるところであるが、「更に正確には」と Jones が言っているところからも察せられるように、この“unstressed”は“having no stress”と解するよりは、むしろ、“having the weakest stress” (American Heritage Dictionary) と解すべきであろう。如何に“unstressed”といえども、何らの“degree of force”もなしに発音される音も音節もないからである。

従来、強勢としては、第一強勢 (primary stress) と第二強勢 (secondary stress) の二つを設け、他は一括して弱勢 (unstressed) とするのが一般である。辞書などにおける強勢符号の使用上の簡便さからいえば、一応これで事足りるといえようが、しかし、この弱勢とされる音節において、曖昧母音 /ə/ の現われる場合と明瞭で強い母音の現われる場合とではその強さ

註 (1) A. C. Gimson, *An Introduction to the Pronunciation of English*, p. 143

(2) Daniel Jones, *The Pronunciation of English* § 436

の度合いに明らかな違いのあることは、言うまでもないであろう。Roger Kingdonは、この後者の場合は、その音節に部分強勢 (partial stress) があるという。彼は、高い pitch で言われ、falling tone となる kinetic stress (いわゆる第一強勢に当る) を受ける音節や、高い pitch の level tone で言われる full static stress (いわゆる第二強勢に当る) を受ける音節に対し、partial stress のある音節は低い pitch で言われ、そこには必ず強い母音が現われなければならないという<sup>(3)</sup>。このように解釈すれば、弱勢音節は、最も弱い強勢を受けて、その母音が通例 /ə/ にまで弱化するか或は /i/ /u/ として現われるものと、消極的とはいえ、ある程度の強勢を受けて、その母音が強い音を保つものに分けて考えるのが妥当であろう。Kingdon のいうこの部分強勢は、一般の辞書はもとより、発音辞典にも、記号によって示されてはいないので、ややもすれば見落とし勝ちとなり、彼も指摘するように、そこに現われる母音を /ə/ で代用する過ちに、特に外国人学習者が陥る弊が生じるのである。そこで、どのような場合に、また、どのような語において、弱勢と見られる音節に強い母音が現われるかを知ることは、正しい発音をするうえで肝要なこととなるであろう。本論文は、短母音に限ってではあるが、RP における弱化と非弱化の問題を考察したものである。

## 2. 短母音の弱化

Kingdon のいう部分強勢を受けない弱勢音節における短母音の弱化の様相を知るには、母音字 **i, e, a, o, u** が弱勢音節においてどのように発音されているかを見るのが最も簡明な方法と思われるので、以下、各母音字別に観察して見たい。尚、例として用いる語の発音はすべて Daniel Jones の *Everyman's English Pronouncing Dictionary* (13th Edition, 1967) に拠っており、[ ] は variant(s) を、( ) はその音が概ね同じ頻度で、使用されたり、脱落したりすることを示す。また一語のうちに同じ

文字が二つ以上あって紛らわしい時は該当のものに下線を施す。更に、記載の便宜上、(第一) 強勢直前の音節にあるものとその後の音節にあるものと末尾音節にあるものとに分け、それぞれ (強勢前) (強勢後) (末尾) とする。

(1) 母音字 **i** は弱勢音節では通例 /i/ となる。

/i/ は後述の /u/ と共に /ə/ となることの極めて少ない母音である。けだし、この両者は、母音のうちでは最も sonority の小さな音であるので、たとえ弱勢位置におかれても、音そのものに変化をきたさなくとも、単に pitch の低下とか強さの度合いの減少などによって、弱化の実を挙げることができからであろう。それでも尚次のような例が見られる。

/ (ə) / : admirable, admiral, aspirate (s., adj.) など /r/ の前。

/ə [i] / : eligible, horrible, permissible などの -ible (但し omissible は /i [ə] /); aspirin (ə), aspirate (v.); April (ə), holiday, principal, principle; etc.

/i [ə] / : ability, capability などの -bility; audibility, credibility などの -ibility; difficult, discipline, policy, politic; etc.

(2) 母音字 **e** は通例 /i/ または /ə/ となる。

/i/ : (強勢前) becalm, befall などの be- (この類はすべて /ə/ を variant としてもつ), celebrity, courtesan, debate, decide, economy /i(ɪ)/, educate /i(ɪ)/, effect, elect, embark, enact (em-, en-の類の動詞はすべて /e/ を variant としてもつ), enunciate, epistle, eradiate, evince, exact, examine (ex- は大部分 /e/ を variant としてもつ), geology, geranium [ə], mechanic, metallic, neglect, negotiate, peculiar, pedestrian [ə], petition [ə], precarious, preclude (pre- は /ə/ を variant としてもつものが多い), promenade [ə], rebuff, recall (re- は殆んどすべて /ə/ を variant としてもつ), seclude, secure [ə], telemeter, veneer [ə], etc.

(強勢後) adjective, allegary [e], bene-

註 (3) Roger Kingdon, *The Groundwork of English Stress*, 4

fice, celebrate, complement, consecrate, decrement, envelope[ə], euphemism, intellect, implement, juvenile, lavender, molecule, nicety, obelisk, prophecy, stevedore, etc. 尚, ancestor, orchestra は /e, ə/ を, carpenter は /ə, pɪ/ を variant とする。

(末尾) acume, catastrophe, simile, recipe; knowledge, college; acted, added; blessed, crooked, wretched; system [ə], brethren [ə], chicken, kitchen [(ə)], linen, pollen [ə], specimen, women; scavenge; ashes, benches, cases, ledges, lenses; admonishes, clenches, deranges, educes, freezes; actress [e], baroness [e]; prowess [e]; careless, fearless; blindness, kindness; largest, oldest; forest, harvest, honest, interest [e, ə], tempest; blanket, bullet, pocket, target; bracelet, streamlet; etc.

/ə/: 殆どすべて /r+母音/ に先立つ場合である。

(強勢前) ferocious [i], generosity, guerilla, meridian [i], perimeter [i, e], /nolette, Renaissance [i], etc.

(強勢後) /(ə)/ となることが多い。

/ə/- archery, beverage, cholera, energy, fragmentary, inventory, lacerate, legendary [i], machinery, moderate [v.], tolerate, tuberosa, etc.

/(e)/- camera, deliberative, dexterous, emperor, excellent, funeral, generalize, moderate (adj.), numeral, opera, venerable, veteran, etc.

/ə [i]/- heresy, lamentable, secretary, etc.

(末尾) 一般に /(e)/ となるが, -nel, -den, -ten, -s(z)en, -ven, -xen, -cent などにおいては /ə/ は通例落ち, -ence, -ent においては /n/, /l/ に先立たれるときは落ちず, また -ment (s.) においても落ちることはない。-ience, -uence ではそれぞれ /i/ /u/ と結合して二重母音 /iə/ /uə/ となる。

barrel, colonel, panel, tunnel, vowel; minstrel, mongrel; emblem [e, i], harem [e], problem [e, i], solemn; barren, broken, fallen, darken, deepen, lengthen, sullen[i],

woolen [i], / garden, golden [ə], sudden, bidden, broaden, beaten, frighten, lessen, loosen, chosen, frozen, hydrogen [i], oven, raven, oxen, vixen; absence, evidence, nonsense; accent [e], advent [e], decent, innocent, potent, / eminence, violence, component, virulent; development, movement; etc.

(3) 母音字 a は通例 /ə/, 時には /i/ となる。

/ə/: (強勢前) abate, baboon, cathedral, fanatic, gradation, harangue, laborious, machine, nativity, patrol; (接頭辞 a-[=on, in] のすべて) abed, afoot, aloud, aport, astir, astray, atrip; (接頭辞 ab-, ad- 及びそれらの異形の大部分) abhor, abrade, absurd, avert / acclaim, admit, advance, affect, announce, appeal, acquire, arrest, ascribe, aspire, assert, attain; etc.

(強勢後) amazon, ambassador [i], bigamy, embassy, formative, generative [ei] (-ative の語には /ei/ を variant としてもつものがかなりある), melancholy, octagon, perishable (その他すべての -able), sedentary (-ary は /t/ /d/ /m/ /n/ に先立たれると /(ə)/ となることが多い: boundary, customary, ordinary), spectacle [i] (-acle は /i/ を variant としてもつ: miracle, oracle, tentacle); etc.

(末尾) china, sofa; lilac; populace [i], solace [i], terrace [i]; eunach, stomach; nomad [æ]; chemical, formal, interval, proposal (-al においては /(ə)/ となることが多く, 特に /d/ /t/ /n/ に先立たれた時は通例 /ə/ は落ちる。ただし -ly がつくときは /-əli/ となる: modal, fatal, eternal. また /i/ /u/ に先立たれた時はそれらと結合して, それぞれ二重母音 /iə/ /uə/ となる: burial, actual); human, puritan, ruffian; instance, nuisance /sn/, penance; constant, infant, peasant (ə), pleasant /zn/; purchase [i]; etc.

/i/: character [ə], temperature [ə]; furnace, necklace, palace [ə], preface [ə], surface [ə]; average, bondage, carriage,

percentage; orange; chocolate, climate, delicate, fortunate, frigate [ə], pirate [ə] (すべて名詞及び形容詞のみ); etc.

- (4) 母音字 **o** は /ə/ もしくは /ɔ/ と /əu/ の併用となる。最近の RP では /ou/ から /əu/ への変化が見られるので、以前は /ou/ が弱化すれば /o/ となったが、最近では /əu/ → /ə/ となる。尚、特に /p/ /pr/ /-v/ のあとではそうであるが、/u/ を variant としてもつことが多い。

/ə/ : (強勢前) collapse, collide, colossal, combine, command, compact, companion, (その他の com-), conceal, conclude, (その他の con-), correct, corrupt, dominion, monopoly, object (v.), oblige (その他の ob-), occasion, occur, offend, oppose, police, possess, procession, produce, profess, pronounce, sonata, sonority [əu], tomato, sal volatile [əu, u], voracious [ɔ, ə], etc.

(強勢後) absolute (ə), advocate anatomy, atrophy, baronage, decorate, felony, gluttony /tn/[ə], indolence [u], insolence (ə) [u], irrevocable, monologue, national [ʃn], obsolete [sl], personal /sn/[ə], poisonous /zn/, reconcile [kn], resolute [zl], synonym [ə, u], etc. (hydrogen は i[ə] となる稀な例)

(末尾) havoc; hammock, rowlock [ə]; method, period; gambol (ə), idol /dl/, pistol /tl/, symbol (ə), mangold (ə); buxom, phantom; bacon (ə), glutton /tn/, matron (ə), melon; fearsome, gruesome; explosion (ə), legion (ə), luncheon (ə), mission (ə), pardon /dn/, pentagon, person /sn/, question (ə), reason /zn/; develop, gollop; purpose; carrot, pivot; mammoth; flummox, etc.

/ə(u)/ : (強勢前) bolometer, coniferous, docility, domestic, globosity, hotel, hydrophobia, jocose, jocundity [ə], locate, modality, nobility, nomadic [ə], notation, notorious, November, phonetic, progress (v.), prosaic ([u]なし), quotation, romance [u], rotate, sobriety, tonemic, vocabulary,

vocation [u], etc.

(強勢後) apposite, arrogance [u], biograph, collocate, eloquence, ferrotype, gyrostat, homograph, isotope, kilogram, linotype, monoplane, neophyte, oscillograph, retroflex, spectrogram, thermograph, etc.

- (5) 母音字 **u** は短母音としては /u/ /ju/ 及び /ə/ となる。

/u/ : (強勢前) fulfil, influential, influenza, etc.

(強勢後) century [ə], conjugate [ə], instrument [ə], quadruped, querulous [ju, ə], virulence [ju], etc.

尚, confluence, influence などでは後の /ə/ と結合して /uə [wə]/ となる。

(末尾) armful, bucketful, handful, mouthful (但し beautiful, careful, wonderful の類は /(u)/), etc.

尚, /u:/ と併用されるものがある : crusade, erudition, fluidity, frugality, etc.

/ju/ : (強勢前) actuality, ambulation, intuition, etc.

(強勢後) accurate [jə], ambulance, attributive, credulous, document, educate [dzu], fluctuate [tʃu], graduate, monument [jə], particular [jə] (その他 [jə] をもつ語 : angular, consular, insular, popular, regular, singular, tubular, uvular. それ以外の -ular は /ju/ のみ。), petulance, reputable, scrupulous [jə], etc. 尚, arduous, tenuous, virtuous, casual, mutual, sexual, valuable などでは後の /ə/ と結合して /uə [wə]/ となる。

更に, /ju:/ と併用されるものがある : cupidity, duplicity, futurity, humane, imputation, judicial, musician, mutate, nutrition, superb [u:], tutorial, ubiquitous, utility, etc.

/ə/ : (強勢前) ambushade, balustrade; sub- 及びその異形が /ə/ となるのは動詞と形容詞及びそれらの派生語に限られる : subdue, subject (v.), subscribe, succeed, suffice, suggest, supply, surrender, suspect; subdue, sublime, suburban, succinct; etc.

(強勢後) baluster, columnist, desultory (ə), illustrate, industry, injury (ə), luxury (ə) [u], perjury (ə), saturate [u], voluntary, etc.

(末尾) consul (ə), difficult (ə); dictum, maximum, pendulum; autumn; rubicund; stirrup; abacus, circus, focus, impetus; mollusk; plexus; gamut; etc.

### 3. 部分強勢音節における /e/ /æ/ /ɔ/ /ʌ/

さて、以上によって、われわれはいわゆる弱勢音節における母音としては /ə/ が最も普通であり、また /i/ /u/ もしばしば現われることを見たのであるが、一見そのような位置にありながら、Kingdon のいう部分強勢を受けて強い音のまゝに留るものに /e/ /æ/ /ɔ/ 及び /ʌ/ がある。以下、再び Jones に拠ってその様相を観察して見たい。ここで留意すべきことは、たとえ同じ発音記号で表記されていても、強勢音節の母音と部分強勢音節のそれとは、既に触れたように、前者が高い pitch の falling tone もしくは level tone で言われるのに対し、後者は低い pitch の level tone で言われるのであるから両者の間にはかなり prominence の違いがあるということである。

(1) /e/ : (強勢前) adventitious [ə], architectonic, Belfast, Bengal, benzoic, censorial, centenary, centesimal, centrality, centrifugal, dentition, electrometer, encaustic, encomiast, endemic, Endymion, ensample, epenthetic, essay (v.), Estonia, ethnography, exfoliate, exhalant, exhale, exilic, exogamous, expurgatory, extrados, extraneous, extrinsic, fermentation [ə], fragmentation [ə], gemmiferous, genteel [ə], gentility [ə], gestation, Glenallan, hebdomad, hendiadys, heptagonal, Kentucky, mendacious, mesmeric, metabolism, necrology, objectivity, ostentation [ə], peccavi, pestiferous, pentameter, plethoric, presentation [ə], rectorial, rendition, reptilian, sectarian, sensation [ə], sententious [ə], September, septet, spectacular, spec-

trometer, stenography [ə], stentorian, sterility [ə], technician, technique, tempestuous [ə], tendencious, testation, tetrameter, velleity, ventiloquy, vestibular, vexation, etc.

尚、次の諸語は variant として /i/ をもつ。[+ə] と付記されているものは /e [i, ə]/ となることを意味する。

affectation, castramelation, cherubic, despotic, echidna, echoic, eclectic, effete, effulge, effuse, embroglio, empiric, encyclic, ensign, epigrapher, epsilon, excerpt (v.), excelsior, excise, exclamatory, excogitate, excursive, expatriate, expletive, exponent, expositive, heraldic, lamentation [+ə] leghorn, lethargic, medicinal [+ə], metathesis, necropolis, nepenthe, pellucid, petard, professorial, proletariat, Semiramis, veracity [+ə], etc.

更に、通例 /i/ の方が一般に用いられるが、(a) /e/ または (b) /e, ə/ を variant としてもものが少くない。その主なものは前掲の em-, en-, ex- の諸語を除き次の通り。

(a) decanal, eccentric, edacious [+i:] emolument, emphatic, Erasmus, felicity, felonious, hepatic, meticulous, negation, object (s.), pedantic, petroleum, senility, etc.

(b) gelantize, generic, genetic, grenade, heredity, heroic, medallion, Medusa, melodious, memorial, methodical, menagerie, metropolis, Nebraska, necessity, nefarious, peninsula, penultimate, semantic, sepulchral, telegraphy, telephony, temerity, etc.

(強勢後) architecture, catalepsy, commentator, compensate [ə], contemplate, epilepsy, interpellate [i], etc.

(末尾) abject, analect, aspect, collect, confect, eject, insect, project, prospect, suspect, vivisect; Manfred, biped, quadruped [i]; Philomel, Isabel, oxmel, ratel [ə, tɪ] diadem, Haarlem, item, theorem; acrogen, cryogen, endogen, glycogen; accumen, Carmen, duramen, omen; dividend [ə], stipend [ə]; incense, recompense; comment, content, indent, orient (v.), portent

[ə], torment [ə], experiment (v.) (その他-mentで終る動詞); concept, percept, precept; abscess /i[ə]/, access, congress, process, progress; conquest, contest, digest, incest, inquest, manifest, protest; asset, epithet, kismet, tenet [i], verset; Elizabeth; index, circumflex, duplex, pontiflex, reflex, retroflex, annex, complex, convex, vortex, context, pretext; etc.

(2)/æ/ : (強勢前) abscission, Afganistan, agnation, Albania [ɔ:], alchemist, Al-hambra [ə], ambassador, ambition, am-phibia, analgesia, anility, antagonist, anthology, anticipate, antipathy, antique, atmometer, bacterium, Balthazar, bamboo, banditti, bandona, baptize, bastille, blas-pheme [ɑ:], calciferous, Calcutta, cam-phoric, canzone, capsize, cascade, cashier (s.) (動詞は /ə[æ]/), castrate, chastize, clandestine, dactylic, dandiacal, elasticity, facsimile, fragmental, gamboge, granitic, Hamitic, Lafcadio, lampoon, Lancastrian, latinity, palmacious, palpation, pandora, plantation, plasticity, practician, rabinic, sanserif, spasmodic, stagnate, tactician, tractarian, tranquility, transact [ɑ:] (その他 trans- の語), vaticinate, etc.

尚, 次の諸語は /ə/ を variant としてもつ。

abduct, ablation, abnormal, abstemious, abstract (v.), accede, accent (v.), acces-sion, admeasure, advene, anarchic, appulse, acidity, agnostic, acquit, asexual [+ei], assever, athletic, atonal, atrophic, Bangkok, cacology, callosity, fantastic, Kashmir, Macbeth, magnanimous, magnetic, narrate, stampede, vacuity, vapidness, etc.

更に, 通例 /ə/ の方が一般に用いられるが, /æ/ を variant としてもつものがある。その主なものは次の通り。

abscond, abjure, accept, adhere, acclivity, accessory, acknowledge, adverbial, affix, agrestic, ally, ascription, assent, attaché, baleen, calligraphy, capitalize, catharsis, catarrh, fastidious, fatuity, flamingo,

habitual, panache, rapidity, rattan, sadistic, statistic, strategic, tatoo, validity, etc.

(強勢後) catapasm, cartomancy, didapper, enthusiasm, fantasm, gerrymander, ha-badasher, metaplasm, Mulcaster, necro-mancy, orgasm, sarcasm, etc.

(末尾) Ahab, confab; almanac, bivouac, maniac; anorak; Cosack, knapsack, ransack; abstract, compact; grandam, phanerogam, telegram, program, iamb; zigzag; asphalt; Afgan, Hindustan, caravan; boomerang, mustang; phalange; phalanx; handicap, overlap; prolaps; alias, Midas, Hudibras; jackass; calipash; bombast, gymnast; autocrat, democrat; heliostat, thermostat; hydropath, psychopath; Ajax, anthrax, climax, syntax; topaz; etc.

(3)/ɔ/ : (強勢前) bombastic, cockade, cognize, cognomen, comix, concentre, comptometer, conchology, consanguine, coquette, cosmetic, cosmogony, cosmopolite, doctrinal, dogmatic, drosometer, glossarial, homology [əu], horology [ɔ:], hostility, longevity, modernity [ə(u)], monistic, montage, nocturnal, nonsensical, nostalgia, obsidian, obsteric, obversely, obvert, octagonal, October, olfactory, omnivorous, ontology, oppugn, optician, oracular, osmunda, ostensible, oxygenous, phos-phoric, pomposity, pongee [ʌ], pontific, posterior, posterity, poteen [əu], proctorial, prognathic, prognosis, prostatic, socratic [ə(u)], sombrero, somniferous, spondaic, thrombosis, tomfoolery, volcano, voltame-ter, etc.

尚, /ə/ を variant としてもつ主なものに次の諸語がある。

bombard, blockade, collate, collateral, commendatory, commingle, concavity, concordat, concyclic, confiscable, congruity, connote, contextual, convexity, monarchal, monoxide, monsoon, monstrosity, morale,

nonentity, objectify, objurgatory, obligatory, obscurant, occlude, occult, oracular, oscillograph, polemic, polygamy, prosperity, prostrate, quotidian, Rossetti, spontaneous, volumeter, voracity [ˈvɔː], etc.

更に、通例 /ə/ の方が一般に用いられるが、/ɔ/ を variant としてもつものがある。

borero, botanic, cocaine, cocoon, collegian, commiserate, commute, conjoin, conjunct, consensus, consort (v.), contact (v.), dominical, Korea, monastic, objective, obliterate, oblivion, obscene, obscure, obtrude, offence, official, oppress, original, polyphony, pomade, solidity, soliloquy, sporadic, topography, voluminous, etc.

(強勢後) analogy, demagoguery, elongate, helicopter, monocle [ə], etc.

(末尾) Antioch, epoch; fetlock, hemlock, peacock; ramrod, decapod, tripod; demagog, pedagog, synagog, analog, apolog, catalog, dialog, epilog, monolog, prolog; alcohol, menthol; coulomb; irenic, peregrine, organon; vagabond; oblong, Oolong; cerebos, chaos, epos, pathos, tripos; kibosh; apricot; equinox, etc.

(4)/ʌ/ : (強勢前) bulbaceous, Bulgaria, custodial, ductility, dundreary, fructiferous, frustrate, gustation, guffaw [ə], Hungarian, lumbago, lustration, luxurious, publicity [ə], pulmonic, pulsate, punctilious, Punjab, subliminal [ə], suborn [ə], subtlety, subvert [ə], succursal, sulphureous, summation, truncation, trustee, umbilicus, umbrageous, umbration, umbrella, unbounded, unceasing, uncertain, unchangeable (un- 複合語は通例 unacted /ʌnˈæktɪd/ のように二重強勢を受けるが、また unable /ʌnˈeɪbl [ʌnˈeɪbl]/ のように variant をもつものも多い。ただし、形容詞及び形容詞用法の現在分詞と過去分詞は概ね /ʌn- / となる), upheave, uphold, vulgarity, etc.

尚、次の諸語は /ə [ʌ] / となる。

buffoon, subject (v.), submerge, submersible, subpoena, subserve, subvention, subversion, succentor, succinct, suffuse, etc.

(強勢後) adumbrate, cucumber [ə], filibuster inculcate, obfuscate, etc.

(末尾) adjunct, educt; impulse; catapult, insult; conflux, efflux; etc.

尚、次の次の諸語は /ə/ を variant としてもつ。

conduct, product, catgut, tumult, moribund, exeunt, chestnut, acciput, Lilliput, etc.

更に、jocund, bankrupt, walrus, walnut などは /ə [ʌ] / となる。

以上、われわれは、/e/ /æ/ /ɔ/ /ʌ/ の強い母音が現われることによって部分強勢を与えられる語の主なものを列挙したのであるが、これらの語の大部分に共通する特徴は、各母音が Jespersen のいう “heavy consonant group” に先立つことである。もっとも、この主要な要因以外に、それらの語の多くが、問題の母音に強勢のつく関連語ないしは派生語をもっているという事実もこれら強い母音の出現と無関係ではないと思われる。また、その語が比較的口語的でないため使用度が低いとか、学術用語・医学用語などの専門用語であるとか、接辞の原意が比較的明瞭に感じられるとか、あるいは、特に外国の人名・地名であるなどの場合にも母音の弱化を阻止する力が働くように見受けられる。更に、強勢後の音節と末尾音節においては強弱強のリズムの影響も見逃せぬ要因をなしていると思われる。

ところで、先にも触れた接頭辞 en-, ex-, pre-, re-, a-, ab-, ad-, com-, of-, sub- 及びそれらの異形が子音(群)で始まる成分について、結果的には子音群に先立つという上記の条件に合致するようであるが、既に見たように、これらの接頭辞の母音は弱化しないのが普通である。これらの接頭辞を冠する複合語以外で、子音群に先立つにも拘らず /i/ もしくは /ə/ の用いられるものとしては僅かに次の諸語

が目立つ程度である。

/i/ : eccentric, emphatic, metropolis [e, ə], Nebraska [e, ə], neglect

/ə/ : acropolis, agrarian, agronomy, agrestic, astrology, atrocity, caprice, gadroon, ladrone, matric, matriculate, Patrician, patristic など主として子音群の一つが /r/ であるもの。

最後に注目すべきことは、子音群を伴っていないにも拘らず強い母音が現われる場合のあることであるが、それらの語の多くは強い母音をもつ関連語や派生語、先立つ接辞・連結形、或は後続の二重子音字などの条件に影響されたものと思われる。そしてそれらの語のうちには、弱い音を variant としてもつものがかなりある。

/e/ : echoic, epilogize, heraldic, leguminous, lessee, lessor, mephatc, metabolism, plethoric, stethoscopy, tepidity, etc.

/e [i]/—cherubic, echidna, effete, effulge, effuse, epigrapher, medicinal [+ə] ne-

penthe, pelagic, pellucid, petard, etc.

/æ/ : abberance, apheresis, aridity, atonal, asymetry [ei], batiste, canard, cashew, cashier, granitic, graphology, latinity, malodorous, narrate, placidity, rubinic, vaticinate, etc.

/æ [ə]/—anarchic, anility, asexual [+ei], assever, atonal, cacology, callosity, cassation, passivity, sateen, vapidty, etc.

/ɔ/ : cocciferous, coquette, drosometer, glossarial, hodometer, homology, horology, monistic, etc.

/ɔ [ə]/—blocade, collate, collateral, collegian, collinear, commendatory, commingle, connote, modernity [ə (u)], monarchial, monoxide, morale, nonentity, occult, opusculc [ə(u)], oracular, oscillogram, polemic [ə(u)], polygamy, poteen [ə(u)], quotidian [ə(u)], voracity, etc.

/ʌ/ : guffaw [ə], suborn [ə], succursal, summation, etc.